

交付図書の訂正について

令和6年12月25日付けで入札公告を行った「(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の入札公告についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、入札公告をご確認ください。

令和7年3月7日

契約責任者

東日本高速道路株式会社北海道支社
支社長 堀 圭 一

【訂正図書】

- ・09_【金抜設計書】道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事
- ・10_【特記仕様書】道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事
- ・11_【割掛対象表参考内訳書】道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事
- ・13_【数量明細表（契約項目）】道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事
- ・③【設計図】道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事
- ・④【設計図】道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください

正誤表(1)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

金抜設計書
単価表

誤

正

正誤区分

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
25	8 - (1)	コンクリート B 2 - 1	1,190	m³			
26	8 - (1)	コンクリート B 2 - 1 (A)	425	m³			
27	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1 (T)	5,903	m³			
28	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1 (T s)	13	m³			
29	8 - (1)	コンクリート D 1 - 1	61	m³			
30	8 - (1)	コンクリート T 1 - 4	37	m³			
31	8 - (1)	コンクリート T 3 - 4	12,369	m³			
32	8 - (2)	型わく C	3,314	m²			
33	8 - (2)	型わく C (T)	1,021	m²			
34	8 - (2)	型わく D	25	m²			
35	8 - (2)	型わく T	24,948	m²			
36	8 - (2)	型わく T (L)	717	m²			

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
25	8 - (1)	コンクリート B 2 - 1	1,190	m³			
26	8 - (1)	コンクリート B 2 - 1 (A)	425	m³			
27	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1 (T)	5,903	m³			
28	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1 (T s)	13	m³			
29	8 - (1)	コンクリート D 1 - 1	61	m³			
30	8 - (1)	コンクリート T 1 - 4	37	m³			
31	8 - (1)	コンクリート T 3 - 4	8,416	m³			
32	8 - (2)	型わく C	3,314	m²			
33	8 - (2)	型わく C (T)	1,021	m²			
34	8 - (2)	型わく D	25	m²			
35	8 - (2)	型わく T	24,948	m²			
36	8 - (2)	型わく T (L)	717	m²			

正誤表(2)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分						
金抜設計書 単価表	誤	単 価 表						
		番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額
		37	8 - (2)	型わく T (S)	209	m ²		
		38	8 - (3)	鉄筋 A	184.36	t		
		39	8 - (3)	鉄筋 A (E)	31.93	t		
		40	8 - (3)	鉄筋 A (T)	74.43	t		
		41	8 - (3)	鉄筋 B	44.75	t		
		42	8 - (3)	鉄筋 C	82.02	t		
		43	8 - (3)	鉄筋 C (E)	3.38	t		
		44	8 - (3)	鉄筋 Y	63.39	t		
		45	8 - (3)	鉄筋 A 1	19.95	t		
		46	8 - (3)	鉄筋 B 1	220.42	t		
		47	8 - (3)	鉄筋 Y 1	65.10	t		
		48	12 - (1)	トンネル掘削 C I - a - 1 - B	72.464	m ³		
	正	単 価 表						
		番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額
		37	8 - (2)	型わく T (S)	209	m ²		
		38	8 - (3)	鉄筋 A	184.36	t		
		39	8 - (3)	鉄筋 A (E)	31.89	t		
		40	8 - (3)	鉄筋 A (T)	74.43	t		
		41	8 - (3)	鉄筋 B	44.75	t		
		42	8 - (3)	鉄筋 C	82.02	t		
		43	8 - (3)	鉄筋 C (E)	3.43	t		
		44	8 - (3)	鉄筋 Y	63.39	t		
		45	8 - (3)	鉄筋 A 1	19.95	t		
		46	8 - (3)	鉄筋 B 1	220.42	t		
		47	8 - (3)	鉄筋 Y 1	65.10	t		
		48	12 - (1)	トンネル掘削 C I - a - 1 - B	72.437	m ³		

正誤表(3)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

金抜設計書
単価表

誤

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
61	12 - (2)	吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートA 5 (t = 2 5 c m)	13	m ²			
62	12 - (2)	吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートB (t = 5 c m)	203	m ²			
63	12 - (3)	ロックボルト工 A (L = 2 . 0 m)	108	本			
64	12 - (3)	ロックボルト工 B (L = 3 . 0 m)	6,435	本			
65	12 - (3)	ロックボルト工 B (L = 4 . 0 m)	1,077	本			
66	12 - (3)	ロックボルト工 C (L = 3 . 0 m)	1,192	本			
67	12 - (3)	ロックボルト工 C (L = 4 . 0 m)	278	本			
68	12 - (4)	鋼アーチ支保工 CⅡ - b	25	基			
69	12 - (4)	鋼アーチ支保工 DⅠ - a	96	基			
70	12 - (4)	鋼アーチ支保工 DⅢ a	129	基			
71	12 - (6)	ずり処理工 A 1	1,754	m ³			
72	12 - (6)	ずり処理工 B 1	107,719	m ³			

正

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
61	12 - (2)	吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートA 5 (t = 2 5 c m)	13	m ²			
62	12 - (2)	吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートB (t = 5 c m)	203	m ²			
63	12 - (3)	ロックボルト工 A (L = 2 . 0 m)	108	本			
64	12 - (3)	ロックボルト工 B (L = 3 . 0 m)	6,435	本			
65	12 - (3)	ロックボルト工 B (L = 4 . 0 m)	1,077	本			
66	12 - (3)	ロックボルト工 C (L = 3 . 0 m)	1,192	本			
67	12 - (3)	ロックボルト工 C (L = 4 . 0 m)	278	本			
68	12 - (4)	鋼アーチ支保工 CⅡ - b	25	基			
69	12 - (4)	鋼アーチ支保工 DⅠ - a	96	基			
70	12 - (4)	鋼アーチ支保工 DⅢ a	129	基			
71	12 - (6)	ずり処理工 A 1	2,105	m ³			
72	12 - (6)	ずり処理工 B 1	107,368	m ³			

正誤表(4)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

金抜設計書
単価表

誤

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
73	12 - (7)	インバート埋戻し工	6,442	m ³			
74	12 - (8)	計測工B 地中変位測定 L=6. 0m	3	箇所			
75	12 - (8)	計測工B ロックボルトの軸力試験 L=3. 0m (1 7 0 KN)	3	本			
76	12 - (8)	計測工C 内空変位測定	3	箇所			
77	12 - (8)	計測工C 天端沈下測定	3	箇所			
78	12 (8)	計測工C 覆工コンクリート応力測定	1	箇所			
79	12 - (8)	計測工C 坑内温度測定	1	箇所			
80	12 - (8)	計測工C 振動測定	2	箇所			
81	12 - (9)	覆工防水工 A (B)	24,678	m ²			
82	12 - (9)	覆工防水工 A (K)	115	m ²			
83	12 - (9)	覆工防水工 B (B)	2,888	m ²			
84	12 - (11)	裏面排水工 A	2,464	m			

正

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
73	12 - (7)	インバート埋戻し工	6,442	m ³			
74	12 - (8)	計測工B 地中変位測定 L=6. 0m	3	箇所			
75	12 - (8)	計測工B ロックボルトの軸力試験 L=3. 0m (1 7 0 KN)	3	本			
76	12 - (8)	計測工C 内空変位測定	3	箇所			
77	12 - (8)	計測工C 天端沈下測定	4	箇所			
78	12 - (8)	計測工C 覆工コンクリート応力測定	4	箇所			
79	12 - (8)	計測工C 坑内温度測定	2	箇所			
80	12 - (8)	計測工C 振動測定	2	箇所			
81	12 - (9)	覆工防水工 A (B)	24,678	m ²			
82	12 - (9)	覆工防水工 A (K)	115	m ²			
83	12 - (9)	覆工防水工 B (B)	2,888	m ²			
84	12 - (11)	裏面排水工 A	2,464	m			

正誤表(5)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

金抜設計書
単価表

誤

正

正誤区分

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
97	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)	625	日			
98	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工	1	式			
99	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工	1	式			
100	12 - (17)	切羽監視員	829	人・日			
101	14 - (9)	マルチング工 シートマルチング (ロール) T y p e E	57	m ²			
102	17 - (31)	はく落防止対策工 A	113	m ²			
103	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員A	30	人・日			
104	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B	1,165	人・日			
105	特 - (1)	のり面保護網工 A	2,063	m ²			
106	特 - (2)	注入式長尺鋼管先受工 打設工A (L=12.5m)	378	本			
107	特 - (2)	注入式長尺鋼管先受工 注入工A (L=12.5m)	49,140	kg			
108	特 - (3)	避難連絡坑防護工	1	箇所			

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
97	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)	625	日			
98	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工	1	式			
99	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工	1	式			
100	12 - (17)	切羽監視員	829	人・日			
101	14 - (9)	マルチング工 シートマルチング (ロール) T y p e E	57	m ²			
102	17 - (31)	はく落防止対策工 A	113	m ²			
103	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員A	30	人・日			
104	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B	1,165	人・日			
105	特 - (1)	のり面保護網工 A	2,063	m ²			
106	特 - (2)	注入式長尺鋼管先受工 打設工A (L=12.5m)	378	本			
107	特 - (2)	注入式長尺鋼管先受工 注入工A (L=12.5m)	41,580	kg			
108	特 - (3)	避難連絡坑防護工	1	箇所			

正誤表(6)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

誤

特記仕様書
21-2 建設副
産物の活用
等

正誤区分

誤

建設副産物	発生場所	数量	活用方法等
アスファルト・ コンクリート塊	打換工施工箇所	—	率計上
建設汚泥	濁水処理施設	—	本線盛土場

(2) 再資源化（最終処分）をする施設の名称及び所在地

建設副産物	施設の名称	所在地	受入条件
コンクリート塊	(株) 吉岡	南富良野町字幾寅 2608-1	受入時間：8:00～17:00 日曜日不可(土曜日、祝日可) 50cm 程度まで受入可
アスファルト・ コンクリート塊	大心技研工業㈱	清水町字清水第5線52-1	受入時間：8:00～16:30 日曜日、第2,4土曜日受入不可 50cm 程度まで受入可

記載している事項については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者が提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

(3) 鏡吹付けコンクリート、アスファルト・コンクリート塊及び建設汚泥は数量が未確定なため、その費用については監督員と受注者で別途協議し定めるものとする。

(4) トンネル掘削等により生ずる濁水を処理した後の汚泥については、関連法令等に従い適切に処理するとともに、処理に先立ち成分分析試験を行いその結果を監督員へ報告するものとする。なお、成分分析試験に伴うこれらに要する費用は諸経費に含まれるものとし、別途支払いを行わないものとする。また、成分分析試験の結果、基準値を超えた場合は、その処理に要する費用については監督員と受注者で協議し定めるものとする。

21-3 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年5月31日 法律第104号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、下表の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「11 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した下表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかな事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

の 工 程 と 作 業 内 容	1) 分別解体の方法		分別解体等の方法
	工 程	作 業 内 容	
①土工	土工	土工	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

20

修正箇所

正

特記仕様書
21-2 建設副
産物の活用
等

正誤区分

正

建設副産物	発生場所	数量	活用方法等
アスファルト・ コンクリート塊	打換工施工箇所	—	率計上
建設汚泥	濁水処理施設	117m3	本線盛土場

(2) 再資源化（最終処分）をする施設の名称及び所在地

建設副産物	施設の名称	所在地	受入条件
コンクリート塊	(株) 吉岡	南富良野町字幾寅 2608-1	受入時間：8:00～17:00 日曜日不可(土曜日、祝日可) 50cm 程度まで受入可
アスファルト・ コンクリート塊	大心技研工業㈱	清水町字清水第5線52-1	受入時間：8:00～16:30 日曜日、第2,4土曜日受入不可 50cm 程度まで受入可

記載している事項については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者が提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

(3) 鏡吹付けコンクリート、アスファルト・コンクリート塊は数量が未確定なため、その費用については監督員と受注者で別途協議し定めるものとする。

(4) トンネル掘削等により生ずる濁水を処理した後の汚泥については、関連法令等に従い適切に処理するとともに、処理に先立ち成分分析試験を行いその結果を監督員へ報告するものとする。なお、成分分析試験に伴うこれらに要する費用は諸経費に含まれるものとし、別途支払いを行わないものとする。また、成分分析試験の結果、基準値を超えた場合は、その処理に要する費用については監督員と受注者で協議し定めるものとする。

21-3 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年5月31日 法律第104号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、下表の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「11 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した下表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかな事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

の 工 程 と 作 業 内 容	1) 分別解体の方法		分別解体等の方法
	工 程	作 業 内 容	
①土工	土工	土工	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

20

正誤表(7)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分																																
特記仕様書 28-2-3 構造物掘削及び 構造物裏込め工	誤	<p>構造物掘削の単価表の項目の種別及び作業内容は、共通仕様書 2－8－1「定義」に示す他、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>構造物掘削 普通部 A</td><td>1) 構造物の基礎地盤の土砂及び軟岩等の掘削 2) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 3) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 1</td><td>1) 串内橋川 P 1 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 2</td><td>1) 串内橋川 P 3 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場へ運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 3</td><td>1) 串内橋川 P 4 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込みトマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 4</td><td>1) 串内橋川 A 2 の構造物掘削での、土留工（鋼矢板Ⅲ型及びグラウンドンカー）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の軟岩の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物裏込め工 裏込め工 A 1</td><td>本特記仕様書 1 7－1 (2) に示す裏込め材を使用して構造物裏込めを完成させることをいう。</td></tr></table> <p>※ 1 構造物掘削 普通部 A の積算上の土質区分は、「土砂 A、B 又は軟岩 A」相当、特殊部 A 1、A 2 及び A 3 の積算上の土質区分は「土砂 B」相当、特殊部 A 4 の積算上の土質区分は「軟岩 A」相当とし、構造物裏込め工 裏込め工 A 1 の積算上の土質区分は「土砂 F」相当とする。</p> <p>※ 2 残土をトマム団体線ずり置場に運搬する前に土質試験を行い監督員に報告するものとする。</p> <p>※ 3 トマム団体線ずり置場では、土砂、表土、軟岩等混ざらないよう区分けすること。</p> <p>(2) 土留め工の種別 構造物掘削特殊部で施工する土留め工は、次のとおりである。</p> <p>27</p>		単価表の項目	区分内容	構造物掘削 普通部 A	1) 構造物の基礎地盤の土砂及び軟岩等の掘削 2) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 3) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 1	1) 串内橋川 P 1 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 2	1) 串内橋川 P 3 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場へ運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 3	1) 串内橋川 P 4 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込みトマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 4	1) 串内橋川 A 2 の構造物掘削での、土留工（鋼矢板Ⅲ型及びグラウンドンカー）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の軟岩の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替	構造物裏込め工 裏込め工 A 1	本特記仕様書 1 7－1 (2) に示す裏込め材を使用して構造物裏込めを完成させることをいう。	正	<p>構造物掘削の単価表の項目の種別及び作業内容は、共通仕様書 2－8－1「定義」に示す他、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>構造物掘削 普通部 A</td><td>1) 構造物の基礎地盤の土砂及び軟岩等の掘削 2) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 3) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 1</td><td>1) 串内橋川 P 1 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 2</td><td>1) 串内橋川 P 3 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場へ運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 3</td><td>1) 串内橋川 P 4 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込みトマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 4</td><td>1) 串内橋川 A 2 の構造物掘削での、土留工（鋼矢板Ⅲ型及びグラウンドンカー）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の軟岩の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物裏込め工 裏込め工 A 1</td><td>本特記仕様書 1 7－1 (4) に示す裏込め材を使用して構造物裏込めを完成させることをいう。</td></tr></table> <p>※ 1 構造物掘削 普通部 A の積算上の土質区分は、「土砂 A、B 又は軟岩 A」相当、特殊部 A 1、A 2 及び A 3 の積算上の土質区分は「土砂 B」相当、特殊部 A 4 の積算上の土質区分は「軟岩 A」相当とし、構造物裏込め工 裏込め工 A 1 の積算上の土質区分は「土砂 F」相当とする。</p> <p>※ 2 残土をトマム団体線ずり置場に運搬する前に土質試験を行い監督員に報告するものとする。</p> <p>※ 3 トマム団体線ずり置場では、土砂、表土、軟岩等混ざらないよう区分けすること。</p> <p>(2) 土留め工の種別 構造物掘削特殊部で施工する土留め工は、次のとおりである。</p> <p>27</p>		単価表の項目	区分内容	構造物掘削 普通部 A	1) 構造物の基礎地盤の土砂及び軟岩等の掘削 2) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 3) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 1	1) 串内橋川 P 1 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 2	1) 串内橋川 P 3 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場へ運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 3	1) 串内橋川 P 4 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込みトマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 4	1) 串内橋川 A 2 の構造物掘削での、土留工（鋼矢板Ⅲ型及びグラウンドンカー）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の軟岩の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替	構造物裏込め工 裏込め工 A 1	本特記仕様書 1 7－1 (4) に示す裏込め材を使用して構造物裏込めを完成させることをいう。
	単価表の項目	区分内容																																
構造物掘削 普通部 A	1) 構造物の基礎地盤の土砂及び軟岩等の掘削 2) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 3) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替																																	
構造物掘削 特殊部 A 1	1) 串内橋川 P 1 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替																																	
構造物掘削 特殊部 A 2	1) 串内橋川 P 3 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場へ運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替																																	
構造物掘削 特殊部 A 3	1) 串内橋川 P 4 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込みトマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替																																	
構造物掘削 特殊部 A 4	1) 串内橋川 A 2 の構造物掘削での、土留工（鋼矢板Ⅲ型及びグラウンドンカー）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の軟岩の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替																																	
構造物裏込め工 裏込め工 A 1	本特記仕様書 1 7－1 (2) に示す裏込め材を使用して構造物裏込めを完成させることをいう。																																	
単価表の項目	区分内容																																	
構造物掘削 普通部 A	1) 構造物の基礎地盤の土砂及び軟岩等の掘削 2) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 3) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替																																	
構造物掘削 特殊部 A 1	1) 串内橋川 P 1 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替																																	
構造物掘削 特殊部 A 2	1) 串内橋川 P 3 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場へ運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替																																	
構造物掘削 特殊部 A 3	1) 串内橋川 P 4 橋脚の構造物掘削での土留工（鋼矢板Ⅲ型）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の土砂の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込みトマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替																																	
構造物掘削 特殊部 A 4	1) 串内橋川 A 2 の構造物掘削での、土留工（鋼矢板Ⅲ型及びグラウンドンカー）等の設置・撤去 2) 構造物の基礎地盤の軟岩の掘削 3) 掘削箇所における仮置き、埋戻し 4) 残土の積込み、トマム団体線ずり置場への運搬、敷均し 5) 含水量の調節、水替																																	
構造物裏込め工 裏込め工 A 1	本特記仕様書 1 7－1 (4) に示す裏込め材を使用して構造物裏込めを完成させることをいう。																																	

正誤表(8)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

特記仕様書
28-4-1 基礎杭

誤

28-4 基礎杭及びケーソン工

28-4-1 基礎杭

(1) 種別

基礎杭の単価表の項目の種別は、共通仕様書7-2-3「材料」に示す他、次表のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
基礎杭	コンクリート強度
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1,200）A1	40N/mm2（呼び）
基礎杭	コンクリート強度
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1,200）A2	30N/mm2（呼び）

(2) 支払

共通仕様書7-2-6「支払」に下記の項目を追加する。

単価表の項目	検測の単位
7-(1) 基礎杭	
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1,200）A1	m
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1,200）A2	m

28-5 コンクリート構造物工

28-5-1 構造物用コンクリート

(1) コンクリートの種別

共通仕様書8-2-3「コンクリートの種別」に次を追加する。

なお、(T) は本坑、(Ts) は避難連絡坑に適用する。

種 別	使用区分	使用構造物
A1-3 (T)	鉄筋量の比較的多い構造物の鉄筋コンクリートに使用するもので、繊維を混入したもの	坑門工のアーチ部
B2-1 (A)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの	橋梁のフーチング
C2-1 (T)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの	トンネルのインバート
C2-1 (Ts)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの	避難連絡坑の床版

(2) 材料

コンクリートに使用する材料は、共通仕様書8-2-4「材料」によるほか、次のとおりとする。

種 別	材齢28日における圧縮強度(N/mm2)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプ(c m)注1)	空気量(%)	セメントの種類	摘要
-----	----------------------	--------------	--------------	--------	---------	----

30

正

28-4 基礎杭及びケーソン工

28-4-1 基礎杭

(1) 種別

基礎杭の単価表の項目の種別は、共通仕様書7-2-3「材料」に示す他、次表のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
基礎杭	コンクリート強度
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1,200）A1	40N/mm2（呼び）
基礎杭	コンクリート強度
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1,200）A2	30N/mm2（呼び）

なお、掘削に伴い発生した残土は、トマム団体線すり置場に運搬、敷均しするものとする。
また、これに要する費用は関連する契約単価に含まれるものとし、別途支払いは行わない。

(2) 支払

共通仕様書7-2-6「支払」に下記の項目を追加する。

単価表の項目	検測の単位
7-(1) 基礎杭	
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1,200）A1	m
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1,200）A2	m

28-5 コンクリート構造物工

28-5-1 構造物用コンクリート

(1) コンクリートの種別

共通仕様書8-2-3「コンクリートの種別」に次を追加する。

なお、(T) は本坑、(Ts) は避難連絡坑に適用する。

種 別	使用区分	使用構造物
A1-3 (T)	鉄筋量の比較的多い構造物の鉄筋コンクリートに使用するもので、繊維を混入したもの	坑門工のアーチ部
B2-1 (A)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの	橋梁のフーチング
C2-1 (T)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの	トンネルのインバート
C2-1 (Ts)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの	避難連絡坑の床版

(2) 材料

コンクリートに使用する材料は、共通仕様書8-2-4「材料」によるほか、次のとおりとする。

種 別	材齢28日における圧縮強度(N/mm2)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプ(c m)注1)	空気量(%)	セメントの種類	摘要
-----	----------------------	--------------	--------------	--------	---------	----

30

正誤表(9)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分																																																								
特記仕様書 28-5-3 鉄筋工	<div>誤</div> <div>鉄筋工の単価表の項目の種別は、共通仕様書 8－4－2「鉄筋の種別」に示すものの他、次のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>使用箇所</th><th>継手の種類</th><th>備考</th></tr><tr><td>A (E)</td><td>鉄筋コンクリート構造物</td><td>重ね継手</td><td>S D 3 4 5</td></tr><tr><td>A (T)</td><td>本坑の覆工及びインバート</td><td>重ね継手</td><td>S D 3 4 5</td></tr><tr><td>C (E)</td><td>橋梁下部構造のせん断補強鉄筋、横拘束鉄筋</td><td>機械式鉄筋定着</td><td>S D 3 4 5</td></tr><tr><td>A 1</td><td>鉄筋コンクリート構造物</td><td>機械継手</td><td>S D 4 9 0</td></tr><tr><td>B 1</td><td>鉄筋コンクリート構造物</td><td>機械継手</td><td>S D 4 9 0</td></tr><tr><td>Y 1</td><td>場所打ち杭</td><td>重ね継手</td><td>S D 4 9 0</td></tr></table> <div>(2) 諸基準 適用すべき諸基準は共通仕様書 8－4－3「適用すべき諸基準」に示す他、次のとおりとする。 ・(社) 土木学会 コンクリート標準示方書【規準編】 ・(社) 土木学会 コンクリートライブラリー112 号へエポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針[改訂版]</div> <div>(3) 材料 A (E) 及び C (E) は、エポキシ樹脂塗装鉄筋である。エポキシ樹脂塗装鉄筋は、土木学会規準 JSCE E 102 エポキシ樹脂塗装鉄筋の品質規格に適合したものでなければならない。 A 1、B 1 及び Y 1 の規格は、高強度鉄筋 S D 4 9 0 である。</div> <div>(4) 支払 共通仕様書 8－4－7「支払」に下記を追加する。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>8－(3) 鉄筋</td><td></td></tr><tr><td> A (E)</td><td>t</td></tr><tr><td> A (T)</td><td>t</td></tr><tr><td> C (E)</td><td>t</td></tr><tr><td> A 1</td><td>t</td></tr><tr><td> B 1</td><td>t</td></tr><tr><td> Y 1</td><td>t</td></tr></table> <div>28－6 トンネル工 28－6－1 トンネル掘削 (1) トンネル掘削方法 共通仕様書 1 2－4－2 に規定するトンネル掘削方法は、以下のとおりとする。</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>掘削方式</th><th>掘削工法</th><th>備考</th></tr><tr><td>狩勝第二トンネル 本坑部</td><td>爆破</td><td>補助ベンチ付き 全断面</td><td>掘削は起点側坑口より行う</td></tr><tr><td>狩勝第二トンネル 避難連絡坑</td><td>爆破 機械</td><td>全断面</td><td>掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破(電子遅延式雷管)に</td></tr></table> <div>32</div>	単価表の項目	使用箇所	継手の種類	備考	A (E)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	S D 3 4 5	A (T)	本坑の覆工及びインバート	重ね継手	S D 3 4 5	C (E)	橋梁下部構造のせん断補強鉄筋、横拘束鉄筋	機械式鉄筋定着	S D 3 4 5	A 1	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	S D 4 9 0	B 1	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	S D 4 9 0	Y 1	場所打ち杭	重ね継手	S D 4 9 0	単価表の項目	検測の単位	8－(3) 鉄筋		A (E)	t	A (T)	t	C (E)	t	A 1	t	B 1	t	Y 1	t	施工箇所	掘削方式	掘削工法	備考	狩勝第二トンネル 本坑部	爆破	補助ベンチ付き 全断面	掘削は起点側坑口より行う	狩勝第二トンネル 避難連絡坑	爆破 機械	全断面	掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破(電子遅延式雷管)に	32
単価表の項目	使用箇所	継手の種類	備考																																																							
A (E)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	S D 3 4 5																																																							
A (T)	本坑の覆工及びインバート	重ね継手	S D 3 4 5																																																							
C (E)	橋梁下部構造のせん断補強鉄筋、横拘束鉄筋	機械式鉄筋定着	S D 3 4 5																																																							
A 1	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	S D 4 9 0																																																							
B 1	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	S D 4 9 0																																																							
Y 1	場所打ち杭	重ね継手	S D 4 9 0																																																							
単価表の項目	検測の単位																																																									
8－(3) 鉄筋																																																										
A (E)	t																																																									
A (T)	t																																																									
C (E)	t																																																									
A 1	t																																																									
B 1	t																																																									
Y 1	t																																																									
施工箇所	掘削方式	掘削工法	備考																																																							
狩勝第二トンネル 本坑部	爆破	補助ベンチ付き 全断面	掘削は起点側坑口より行う																																																							
狩勝第二トンネル 避難連絡坑	爆破 機械	全断面	掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破(電子遅延式雷管)に																																																							
正	<div>鉄筋工の単価表の項目の種別は、共通仕様書 8－4－2「鉄筋の種別」に示すものの他、次のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>使用箇所</th><th>継手の種類</th><th>備考</th></tr><tr><td>A (E)</td><td>鉄筋コンクリート構造物</td><td>重ね継手</td><td>S D 3 4 5</td></tr><tr><td>A (T)</td><td>本坑の覆工及びインバート</td><td>重ね継手</td><td>S D 3 4 5</td></tr><tr><td>C (E)</td><td>橋梁下部構造のせん断補強鉄筋、横拘束鉄筋</td><td>機械式鉄筋定着</td><td>S D 3 4 5</td></tr><tr><td>A 1</td><td>鉄筋コンクリート構造物</td><td>重ね継手</td><td>S D 4 9 0</td></tr><tr><td>B 1</td><td>鉄筋コンクリート構造物</td><td>機械継手</td><td>S D 4 9 0</td></tr><tr><td>Y 1</td><td>場所打ち杭</td><td>重ね継手</td><td>S D 4 9 0</td></tr></table> <div>(2) 諸基準 適用すべき諸基準は共通仕様書 8－4－3「適用すべき諸基準」に示す他、次のとおりとする。 ・(社) 土木学会 コンクリート標準示方書【規準編】 ・(社) 土木学会 コンクリートライブラリー112 号へエポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針[改訂版]</div> <div>(3) 材料 A (E) 及び C (E) は、エポキシ樹脂塗装鉄筋である。エポキシ樹脂塗装鉄筋は、土木学会規準 JSCE E 102 エポキシ樹脂塗装鉄筋の品質規格に適合したものでなければならない。 A 1、B 1 及び Y 1 の規格は、高強度鉄筋 S D 4 9 0 である。</div> <div>(4) 支払 共通仕様書 8－4－7「支払」に下記を追加する。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>8－(3) 鉄筋</td><td></td></tr><tr><td> A (E)</td><td>t</td></tr><tr><td> A (T)</td><td>t</td></tr><tr><td> C (E)</td><td>t</td></tr><tr><td> A 1</td><td>t</td></tr><tr><td> B 1</td><td>t</td></tr><tr><td> Y 1</td><td>t</td></tr></table> <div>28－6 トンネル工 28－6－1 トンネル掘削 (1) トンネル掘削方法 共通仕様書 1 2－4－2 に規定するトンネル掘削方法は、以下のとおりとする。</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>掘削方式</th><th>掘削工法</th><th>備考</th></tr><tr><td>狩勝第二トンネル 本坑部</td><td>爆破</td><td>補助ベンチ付き 全断面</td><td>掘削は起点側坑口より行う</td></tr><tr><td>狩勝第二トンネル 避難連絡坑</td><td>爆破 機械</td><td>全断面</td><td>掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破(電子遅延式雷管)に</td></tr></table> <div>32</div>	単価表の項目	使用箇所	継手の種類	備考	A (E)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	S D 3 4 5	A (T)	本坑の覆工及びインバート	重ね継手	S D 3 4 5	C (E)	橋梁下部構造のせん断補強鉄筋、横拘束鉄筋	機械式鉄筋定着	S D 3 4 5	A 1	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	S D 4 9 0	B 1	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	S D 4 9 0	Y 1	場所打ち杭	重ね継手	S D 4 9 0	単価表の項目	検測の単位	8－(3) 鉄筋		A (E)	t	A (T)	t	C (E)	t	A 1	t	B 1	t	Y 1	t	施工箇所	掘削方式	掘削工法	備考	狩勝第二トンネル 本坑部	爆破	補助ベンチ付き 全断面	掘削は起点側坑口より行う	狩勝第二トンネル 避難連絡坑	爆破 機械	全断面	掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破(電子遅延式雷管)に	32
単価表の項目	使用箇所	継手の種類	備考																																																							
A (E)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	S D 3 4 5																																																							
A (T)	本坑の覆工及びインバート	重ね継手	S D 3 4 5																																																							
C (E)	橋梁下部構造のせん断補強鉄筋、横拘束鉄筋	機械式鉄筋定着	S D 3 4 5																																																							
A 1	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	S D 4 9 0																																																							
B 1	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	S D 4 9 0																																																							
Y 1	場所打ち杭	重ね継手	S D 4 9 0																																																							
単価表の項目	検測の単位																																																									
8－(3) 鉄筋																																																										
A (E)	t																																																									
A (T)	t																																																									
C (E)	t																																																									
A 1	t																																																									
B 1	t																																																									
Y 1	t																																																									
施工箇所	掘削方式	掘削工法	備考																																																							
狩勝第二トンネル 本坑部	爆破	補助ベンチ付き 全断面	掘削は起点側坑口より行う																																																							
狩勝第二トンネル 避難連絡坑	爆破 機械	全断面	掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破(電子遅延式雷管)に																																																							

正誤表(10)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

正誤区分

誤

特記仕様書

28-6-5 計測工

単価表の項目	測定箇所	設置期間
計測工B 地中変位測定 ロックボルトの軸力試験	Ⅱ期線本坑部	—
計測工C 内空変位測定 天端沈下測定 覆工コンクリート応力測定 坑内温度測定 振動測定	供用路線非常駐車帯部 (避難連絡坑接続部)	設置期間 令和8年6月中旬～ 令和10年9月中旬 (27ヶ月)

(2) 施工

計測工Cの計測器の設置は工事開始後速やかに夜間通行止め時に行うものとし、撤去は覆工完了後の夜間通行止め時に設計図書及び監督員の指示する箇所にて行うものとする。

また、計測は自動計測とし本坑及び避難連絡坑の掘削による供用路線への影響を常時観測できるものとしなければならない。測定箇所は**供用路線非常駐車帯部(避難連絡坑接続部)**とする。

(3) 数量の検測

計測工Cの検測は設計数量（箇所）で行うものとする。

(4) 支払

計測工Cの支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う計測器の設置及び撤去、データ整理等計測工Cに要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
12－(8) 計測工B	
地中変位測定 L＝6.0m	箇所
ロックボルトの軸力試験 L＝3.0m（170kN）	本
計測工C	
内空変位測定	箇所
天端沈下測定	箇所
覆工コンクリート応力測定	箇所
坑内温度測定	箇所
振動測定	箇所

28－6－6 汚濁水処理工

(1) 共通仕様書12－19－1に規定する汚濁水処理設備の規模、汚濁水の水質、排水基準等は次のとおりとする。

36

正

誤

正

単価表の項目	測定箇所	設置期間
計測工B 地中変位測定 ロックボルトの軸力試験	Ⅱ期線本坑部	—
計測工C 内空変位測定 天端沈下測定 覆工コンクリート応力測定 坑内温度測定 振動測定	供用路線本坑部・非常駐車帯部(避難連絡坑接続部)	設置期間 令和8年6月中旬～ 令和10年9月中旬 (27ヶ月)

(2) 施工

計測工Cの計測器の設置は工事開始後速やかに夜間通行止め時に行うものとし、撤去は覆工完了後の夜間通行止め時に設計図書及び監督員の指示する箇所にて行うものとする。

また、計測は自動計測とし本坑及び避難連絡坑の掘削による供用路線への影響を常時観測できるものとしなければならない。測定箇所は**供用路線本坑部・非常駐車帯部(避難連絡坑接続部)**とする。

(3) 数量の検測

計測工Cの検測は設計数量（箇所）で行うものとする。

(4) 支払

計測工Cの支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う計測器の設置及び撤去、データ整理等計測工Cに要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
12－(8) 計測工B	
地中変位測定 L＝6.0m	箇所
ロックボルトの軸力試験 L＝3.0m（170kN）	本
計測工C	
内空変位測定	箇所
天端沈下測定	箇所
覆工コンクリート応力測定	箇所
坑内温度測定	箇所
振動測定	箇所

28－6－6 汚濁水処理工

(1) 共通仕様書12－19－1に規定する汚濁水処理設備の規模、汚濁水の水質、排水基準等は次のとおりとする。

36

正誤表(11)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分															
誤		番 号	名称及び測点	番 号	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
				項目番号	8－(1)							8－(2)					
				項 目	コンクリート							型わく					
					B 2－1	B 2－1 (A)	C 2－1 (T)	C 2－1 (T s)	D 1－1	T 1－4	T 3－4	C	C (T)	D	T	T (L)	
					単 位				m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
		1	本線（下り線） (STA.1072+39.7～STA.1076+31.6)														
		2	市内橋 A 1 (STA.1074+70)			425.0			12.0			772.3		4.7			
		3	市内橋 P 1 (STA.1075+19)		323.1				11.6			504.8		4.6			
		4	市内橋 P 2 (STA.1074+70)		323.1				11.6			568.2		4.6			
		5	市内橋 P 3 (STA.1075+19)		156.8				8.6			516.0		3.8			
正		6	市内橋 P 4 (STA.1074+70)		142.5				7.9			470.0		3.6			
		7	市内橋 A 2 (STA.1075+19)		244.3				8.9			482.2		4.1			
		8	狩勝第二トンネル西工事 (STA.1076+31.60～STA.1088+80)				5,903.4				12,369.1				24,948.0	716.7	
		9	狩勝第二トンネル西工事 (避難連絡坑)					12.5		36.8							
		10	狩勝第二トンネル西工事 坑門工 (起点側)										1,020.5				
		11	坑口工事用道路 構築														
		12	坑口工事用道路 撤去														
		13	場所打ち杭工														
			合 計		1,189.8	425.0	5,903.4	12.5	60.6	36.8	12,369.1	3,313.5	1,020.5	25.4	24,948.0	716.7	
誤		番 号	名称及び測点	番 号	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
				項目番号	8－(1)							8－(2)					
				項 目	コンクリート							型わく					
					B 2－1	B 2－1 (A)	C 2－1 (T)	C 2－1 (T s)	D 1－1	T 1－4	T 3－4	C	C (T)	D	T	T (L)	
					単 位				m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
		1	本線（下り線） (STA.1072+39.7～STA.1076+31.6)														
		2	市内橋 A 1 (STA.1074+70)			425.0			12.0			772.3		4.7			
		3	市内橋 P 1 (STA.1075+19)		323.1				11.6			504.8		4.6			
		4	市内橋 P 2 (STA.1074+70)		323.1				11.6			568.2		4.6			
		5	市内橋 P 3 (STA.1075+19)		156.8				8.6			516.0		3.8			
正		6	市内橋 P 4 (STA.1074+70)		142.5				7.9			470.0		3.6			
		7	市内橋 A 2 (STA.1075+19)		244.3				8.9			482.2		4.1			
		8	狩勝第二トンネル西工事 (STA.1076+31.60～STA.1088+80)				5,903.4				8,416.3				24,948.0	716.7	
		9	狩勝第二トンネル西工事 (避難連絡坑)					12.5		36.8							
		10	狩勝第二トンネル西工事 坑門工 (起点側)										1,020.5				
		11	坑口工事用道路 構築														
		12	坑口工事用道路 撤去														
		13	場所打ち杭工														
			合 計		1,189.8	425.0	5,903.4	12.5	60.6	36.8	8,416.3	3,313.5	1,020.5	25.4	24,948.0	716.7	

正誤表(12)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

<

正誤表(13)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

正誤区分

誤	数量明細表															
	番 号	名称及び測点	番 号	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
			項目番号	12-(2)		12-(3)					12-(4)			12-(6)		
			項 目	吹付けコンクリート工		ロックボルト工					鋼アーチ支保工			すり処理工		
				吹付けコン クリートA 5 (L = 2.5 c m)	吹付けコン クリートB (L = 5 c m)	A (L = 2.0 m)	B (L = 3.0 m)	B (L = 4.0 m)	C (L = 3.0 m)	C (L = 4.0 m)	CⅡ-b	DⅠ-a	DⅢ a	AⅠ	BⅠ	
			単 位	m ³	m ³	本	本	本	本	本	本	基	基	基	m ²	m ²
	1	本線（下り線） (STA.1072+39.7~STA.1076+31.6)														
	2	中内橋A 1 (STA.1074+70)														
	3	中内橋P 1 (STA.1075+19)														
	4	中内橋P 2 (STA.1074+70)														
	5	中内橋P 3 (STA.1075+19)														
	6	中内橋P 4 (STA.1074+70)														
	7	中内橋A 2 (STA.1075+19)														
	8	狩勝第二トンネル西工事 (STA.1076+31.60~STA.1088+80)					6,435.0	1,077.0	1,192.0	278.0	25.0	96.0	129.0	1,754.2	107,406.2	
	9	狩勝第二トンネル西工事 (遊歴連絡坑)		13.1	202.7	108.0										313.1
10	狩勝第二トンネル西工事 坑門工 (起点側)															
11	坑口工事用道路 構築															
12	坑口工事用道路 撤去															
13	場所打ち杭工															
	合 計		13.1	202.7	108.0	6,435.0	1,077.0	1,192.0	278.0	25.0	96.0	129.0	1,754.2	107,719.3		

正	数量明細表															
	番 号	名称及び測点	番 号	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
			項目番号	12-(2)		12-(3)					12-(4)			12-(6)		
			項 目	吹付けコンクリート工		ロックボルト工					鋼アーチ支保工			すり処理工		
				吹付けコン クリートA 5 (L = 2.5 c m)	吹付けコン クリートB (L = 5 c m)	A (L = 2.0 m)	B (L = 3.0 m)	B (L = 4.0 m)	C (L = 3.0 m)	C (L = 4.0 m)	CⅡ-b	DⅠ-a	DⅢ a	AⅠ	BⅠ	
			単 位	m ³	m ³	本	本	本	本	本	本	基	基	基	m ²	m ²
	1	本線（下り線） (STA.1072+39.7~STA.1076+31.6)														
	2	中内橋A 1 (STA.1074+70)														
	3	中内橋P 1 (STA.1075+19)														
	4	中内橋P 2 (STA.1074+70)														
	5	中内橋P 3 (STA.1075+19)														
	6	中内橋P 4 (STA.1074+70)														
	7	中内橋A 2 (STA.1075+19)														
	8	狩勝第二トンネル西工事 (STA.1076+31.60~STA.1088+80)					6,435.0	1,077.0	1,192.0	278.0	25.0	96.0	129.0	2,105.1	107,055.3	
	9	狩勝第二トンネル西工事 (遊歴連絡坑)		13.1	202.7	108.0										313.1
10	狩勝第二トンネル西工事 坑門工 (起点側)															
11	坑口工事用道路 構築															
12	坑口工事用道路 撤去															
13	場所打ち杭工															
	合 計		13.1	202.7	108.0	6,435.0	1,077.0	1,192.0	278.0	25.0	96.0	129.0	2,105.1	107,368.4		

正誤表(14)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

正誤区分

誤

番 号	名称及び測点	番 号	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	
		項目番号	12-(7)	12-(8)		12-(8)				12-(9)				12-(11)	
		項 目	インポート側(L=6.0m)		計測工B		計測工C				覆工防水工				裏面排水工
			地中変位測定 L=6.0m	ロケットボルトの軸 力試験 L=3.0m (170KN)	内空変位測定	天端沈下測定	覆工コンク リート応力測 定	坑内温度測定	振動測定	A (B)	A (K)	B (B)	A		
単 位			m	箇所	本	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	㎡	㎡	㎡	m	
1	本線（下り線） （STA.1072+39.7～STA.1076+31.6）														
2	中内橋A 1 （STA.1074+70）														
3	中内橋P 1 （STA.1075+19）														
4	中内橋P 2 （STA.1074+70）														
5	中内橋P 3 （STA.1075+19）														
6	中内橋P 4 （STA.1074+70）														
7	中内橋A 2 （STA.1075+19）														
8	狩勝第二トンネル西工事 （STA.1076+31.60～STA.1088+80）		6,444.7	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	2.0	24,600.9		2,888.4	2,464.2	
9	狩勝第二トンネル西工事 （避難連絡坑）										77.5	114.9			
10	狩勝第二トンネル西工事 坑門工 （起点側）														
11	坑口工事用道路 構築														
12	坑口工事用道路 撤去														
13	場所打ち杭工														
合 計			6,444.7	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	2.0	24,678.4	114.9	2,888.4	2,464.2	

正

番 号	名称及び測点	番 号	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	
		項目番号	12-(7)	12-(8)		12-(8)				12-(9)				12-(11)	
		項 目	インポート側(L=6.0m)		計測工B		計測工C				覆工防水工				裏面排水工
			地中変位測定 L=6.0m	ロケットボルトの軸 力試験 L=3.0m (170KN)	内空変位測定	天端沈下測定	覆工コンク リート応力測 定	坑内温度測定	振動測定	A (B)	A (K)	B (B)	A		
単 位			m	箇所	本	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	㎡	㎡	㎡	m	
1	本線（下り線） （STA.1072+39.7～STA.1076+31.6）														
2	中内橋A 1 （STA.1074+70）														
3	中内橋P 1 （STA.1075+19）														
4	中内橋P 2 （STA.1074+70）														
5	中内橋P 3 （STA.1075+19）														
6	中内橋P 4 （STA.1074+70）														
7	中内橋A 2 （STA.1075+19）														
8	狩勝第二トンネル西工事 （STA.1076+31.60～STA.1088+80）		6,444.7	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	2.0	2.0	24,600.9		2,888.4	2,464.2	
9	狩勝第二トンネル西工事 （避難連絡坑）										77.5	114.9			
10	狩勝第二トンネル西工事 坑門工 （起点側）														
11	坑口工事用道路 構築														
12	坑口工事用道路 撤去														
13	場所打ち杭工														
合 計			6,444.7	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	2.0	2.0	24,678.4	114.9	2,888.4	2,464.2	

正誤表(15)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

正誤区分

誤

番 号	名称及び測点	番 号	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108			
		項目番号	12-(16)			12-(17)	14-(9)	17-(31)	19-(2)		特-(1)	特-(2)		特-(3)			
		項 目	フリッカ設備工			切羽監視員	マルチンダ工	はく機員(作業工)	交通保安要員		のり面保護網工	注入式長尺鋼管先受工		避難経路点防護工			
			フリッカ設備工(供用)	フリッカ設備設置工	フリッカ設備撤去工		シートマルチンダ (ロールタイプ)	A	交通誘導警備員A	交通誘導警備員B	A	打設工A (L=12.5m)	注入工A (L=12.5m)				
			単 位	日	式	式	人・日	m	m	人・日	人・日	m	本	kg	箇所		
1	本線 (下り線) (STA.1072+39.7~STA.1076+31.6)							57.4		30.0	1,165.0	670.2					
2	串内橋A 1 (STA.1074+70)																
3	串内橋P 1 (STA.1075+19)																
4	串内橋P 2 (STA.1074+70)																
5	串内橋P 3 (STA.1075+19)							101.7									
6	串内橋P 4 (STA.1074+70)							11.1									
7	串内橋A 2 (STA.1075+19)																
8	狩勝第二トンネル西工事 (STA.1076+31.60~STA.1088+80)			625.0		1.0		1.0	829.0				378.0	49,140.0			
9	狩勝第二トンネル西工事 (避難連絡坑)														1.0		
10	狩勝第二トンネル西工事 坑門工 (起点側)										1,392.7						
11	坑口工事用道路 構築																
12	坑口工事用道路 撤去																
13	場所打ち杭工																
	合 計			625.0		1.0		1.0	829.0	57.4	112.8	30.0	1,165.0	2,062.9	378.0	49,140.0	1.0

数量明細表

正

番 号	名称及び測点	番 号	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108			
		項目番号	12-(16)			12-(17)	14-(9)	17-(31)	19-(2)		特-(1)	特-(2)		特-(3)			
		項 目	フリッカ設備工			切羽監視員	マルチンダ工	はく機員(作業工)	交通保安要員		のり面保護網工	注入式長尺鋼管先受工		避難経路点防護工			
			フリッカ設備工(供用)	フリッカ設備設置工	フリッカ設備撤去工		シートマルチンダ (ロールタイプ)	A	交通誘導警備員A	交通誘導警備員B	A	打設工A (L=12.5m)	注入工A (L=12.5m)				
			単 位	日	式	式	人・日	m	m	人・日	人・日	m	本	kg	箇所		
1	本線 (下り線) (STA.1072+39.7~STA.1076+31.6)							57.4		30.0	1,165.0	670.2					
2	串内橋A 1 (STA.1074+70)																
3	串内橋P 1 (STA.1075+19)																
4	串内橋P 2 (STA.1074+70)																
5	串内橋P 3 (STA.1075+19)							101.7									
6	串内橋P 4 (STA.1074+70)							11.1									
7	串内橋A 2 (STA.1075+19)																
8	狩勝第二トンネル西工事 (STA.1076+31.60~STA.1088+80)			625.0		1.0		1.0	829.0				378.0	41,550.0			
9	狩勝第二トンネル西工事 (避難連絡坑)														1.0		
10	狩勝第二トンネル西工事 坑門工 (起点側)										1,392.7						
11	坑口工事用道路 構築																
12	坑口工事用道路 撤去																
13	場所打ち杭工																
	合 計			625.0		1.0		1.0	829.0	57.4	112.8	30.0	1,165.0	2,062.9	378.0	41,550.0	1.0

正誤表(16)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分																																			
	誤	割掛対象表参考内訳書 1 / 6																																			
		<table><tr><th colspan="4">【 共通仮設費 】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>工事用機械運搬費 (トンネル)</td><td>トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。</td><td>ネーローラ[※] (トラクタショベル) サイドダンプ 3.0 m³級: 24-1 台-1 往復 ダンプトラック 25t 積み: 4 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費 (土工)</td><td>土工及びずり処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>バックホウ 1.0m³: 1 台-1 往復 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 160.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費 (構造物掘削)</td><td>構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 クローラークレーン 50t 級: 1 台-2 往復 クラムシェル 0.6m³: 2 台-1 往復 硬質地盤専用圧入機: 3 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費 (橋梁基礎工)</td><td>橋梁基礎工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>全周回転式掘削機 (Max 径 1.2m 据置式): 2 台-1 往復 クローラークレーン 65t 級: 2 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費 (トンネル)</td><td>トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>3 ブームホイールジャンボ 170kg 級: 1 台-1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150kg 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機エレクトラ型 6~22m³/h 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機 20 m³/h 級: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>仮設材等運搬費 (構造物掘削)</td><td>構造物掘削工で使用する仮設材等 (鋼矢板、腹起し等) の運搬に要する費用をいう。</td><td>【構造物掘削 特殊部 A 1 (串内橋 P1)】 ・鋼矢板 : 83.220 t ・腹起し・火打ち : 26.962 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 3.116 t 計 : 113.298 t 【構造物掘削 特殊部 A 2 (串内橋 P3)】 ・鋼矢板 : 71.760 t</td><td>○</td></tr></table>				【 共通仮設費 】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工事用機械運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	ネーローラ [※] (トラクタショベル) サイドダンプ 3.0 m ³ 級: 24-1 台-1 往復 ダンプトラック 25t 積み: 4 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—	工事用機械分解組立費 (土工)	土工及びずり処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	バックホウ 1.0m ³ : 1 台-1 往復 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 160.0km (片道)】	—	工事用機械分解組立費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 クローラークレーン 50t 級: 1 台-2 往復 クラムシェル 0.6m ³ : 2 台-1 往復 硬質地盤専用圧入機: 3 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—	工事用機械分解組立費 (橋梁基礎工)	橋梁基礎工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	全周回転式掘削機 (Max 径 1.2m 据置式): 2 台-1 往復 クローラークレーン 65t 級: 2 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—	工事用機械分解組立費 (トンネル)	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	3 ブームホイールジャンボ 170kg 級: 1 台-1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150kg 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機エレクトラ型 6~22m ³ /h 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機 20 m ³ /h 級: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—	仮設材等運搬費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する仮設材等 (鋼矢板、腹起し等) の運搬に要する費用をいう。	【構造物掘削 特殊部 A 1 (串内橋 P1)】 ・鋼矢板 : 83.220 t ・腹起し・火打ち : 26.962 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 3.116 t 計 : 113.298 t 【構造物掘削 特殊部 A 2 (串内橋 P3)】 ・鋼矢板 : 71.760 t	○
【 共通仮設費 】																																					
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																		
工事用機械運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	ネーローラ [※] (トラクタショベル) サイドダンプ 3.0 m ³ 級: 24-1 台-1 往復 ダンプトラック 25t 積み: 4 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—																																		
工事用機械分解組立費 (土工)	土工及びずり処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	バックホウ 1.0m ³ : 1 台-1 往復 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 160.0km (片道)】	—																																		
工事用機械分解組立費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 クローラークレーン 50t 級: 1 台-2 往復 クラムシェル 0.6m ³ : 2 台-1 往復 硬質地盤専用圧入機: 3 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—																																		
工事用機械分解組立費 (橋梁基礎工)	橋梁基礎工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	全周回転式掘削機 (Max 径 1.2m 据置式): 2 台-1 往復 クローラークレーン 65t 級: 2 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—																																		
工事用機械分解組立費 (トンネル)	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	3 ブームホイールジャンボ 170kg 級: 1 台-1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150kg 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機エレクトラ型 6~22m ³ /h 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機 20 m ³ /h 級: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—																																		
仮設材等運搬費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する仮設材等 (鋼矢板、腹起し等) の運搬に要する費用をいう。	【構造物掘削 特殊部 A 1 (串内橋 P1)】 ・鋼矢板 : 83.220 t ・腹起し・火打ち : 26.962 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 3.116 t 計 : 113.298 t 【構造物掘削 特殊部 A 2 (串内橋 P3)】 ・鋼矢板 : 71.760 t	○																																		
割掛対照表 参考内訳書		割掛対象表参考内訳書 1 / 6																																			
	正	<table><tr><th colspan="4">【 共通仮設費 】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>工事用機械運搬費 (トンネル)</td><td>トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。</td><td>ネーローラ[※] (トラクタショベル) サイドダンプ 3.0 m³級: 24-1 台-1 往復 ダンプトラック 25t 積み: 4 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費 (土工)</td><td>土工及びずり処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>バックホウ 1.0m³: 1 台-1 往復 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 リッパ付ブルドーザ 32t: 1 台-1 往復 ブルドーザ 32t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 150.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費 (構造物掘削)</td><td>構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>ブルドーザ 21t: 1 台-1 往復 クローラークレーン 50t 級: 1 台-2 往復 クラムシェル 0.6m³: 2 台-1 往復 硬質地盤専用圧入機: 3 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費 (橋梁基礎工)</td><td>橋梁基礎工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>全周回転式掘削機 (Max 径 1.2m 据置式): 2 台-1 往復 クローラークレーン 65t 級: 2 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費 (トンネル)</td><td>トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>3 ブームホイールジャンボ 170kg 級: 1 台-1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150kg 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機エレクトラ型 6~22m³/h 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機 20 m³/h 級: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】</td><td>—</td></tr><tr><td>仮設材等運搬費 (構造物掘削)</td><td>構造物掘削工で使用する仮設材等 (鋼矢板、腹起し等) の運搬に要する費用をいう。</td><td>【構造物掘削 特殊部 A 1 (串内橋 P1)】 ・鋼矢板 : 83.220 t ・腹起し・火打ち : 26.962 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 3.116 t</td><td>○</td></tr></table>				【 共通仮設費 】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工事用機械運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	ネーローラ [※] (トラクタショベル) サイドダンプ 3.0 m ³ 級: 24-1 台-1 往復 ダンプトラック 25t 積み: 4 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—	工事用機械分解組立費 (土工)	土工及びずり処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	バックホウ 1.0m ³ : 1 台-1 往復 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 リッパ付ブルドーザ 32t: 1 台-1 往復 ブルドーザ 32t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 150.0km (片道)】	—	工事用機械分解組立費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	ブルドーザ 21t: 1 台-1 往復 クローラークレーン 50t 級: 1 台-2 往復 クラムシェル 0.6m ³ : 2 台-1 往復 硬質地盤専用圧入機: 3 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—	工事用機械分解組立費 (橋梁基礎工)	橋梁基礎工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	全周回転式掘削機 (Max 径 1.2m 据置式): 2 台-1 往復 クローラークレーン 65t 級: 2 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—	工事用機械分解組立費 (トンネル)	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	3 ブームホイールジャンボ 170kg 級: 1 台-1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150kg 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機エレクトラ型 6~22m ³ /h 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機 20 m ³ /h 級: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—	仮設材等運搬費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する仮設材等 (鋼矢板、腹起し等) の運搬に要する費用をいう。	【構造物掘削 特殊部 A 1 (串内橋 P1)】 ・鋼矢板 : 83.220 t ・腹起し・火打ち : 26.962 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 3.116 t	○
		【 共通仮設費 】																																			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																		
工事用機械運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	ネーローラ [※] (トラクタショベル) サイドダンプ 3.0 m ³ 級: 24-1 台-1 往復 ダンプトラック 25t 積み: 4 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—																																		
工事用機械分解組立費 (土工)	土工及びずり処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	バックホウ 1.0m ³ : 1 台-1 往復 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 リッパ付ブルドーザ 32t: 1 台-1 往復 ブルドーザ 32t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】 湿地ブルドーザ 20t: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 150.0km (片道)】	—																																		
工事用機械分解組立費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	ブルドーザ 21t: 1 台-1 往復 クローラークレーン 50t 級: 1 台-2 往復 クラムシェル 0.6m ³ : 2 台-1 往復 硬質地盤専用圧入機: 3 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—																																		
工事用機械分解組立費 (橋梁基礎工)	橋梁基礎工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	全周回転式掘削機 (Max 径 1.2m 据置式): 2 台-1 往復 クローラークレーン 65t 級: 2 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—																																		
工事用機械分解組立費 (トンネル)	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	3 ブームホイールジャンボ 170kg 級: 1 台-1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150kg 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機エレクトラ型 6~22m ³ /h 級: 1 台-1 往復 コンクリート吹付け機 20 m ³ /h 級: 1 台-1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 約 170.0km (片道)】	—																																		
仮設材等運搬費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する仮設材等 (鋼矢板、腹起し等) の運搬に要する費用をいう。	【構造物掘削 特殊部 A 1 (串内橋 P1)】 ・鋼矢板 : 83.220 t ・腹起し・火打ち : 26.962 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 3.116 t	○																																		

正誤表(17)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分																																																
誤		<div>割掛対象表参考内訳書 2 / 6</div> <table><tr><td></td><td></td><td><div><div>・腹起し・火打ち : 35.268 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.692 t</div><div>計 : 111.720 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 3（串内橋 P4）】</div><div>・鋼矢板・鋼矢板継手 : 81.930 t</div><div>・腹起し・火打ち : 30.962 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.356 t</div><div>計 : 117.248 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 4（串内橋A 2）】</div><div>・鋼矢板 : 33.240 t</div><div>・腹起し・火打ち :</div><div>5.760 t</div><div>・カバープレート : 0.136 t</div><div>計 : 39.136 t</div><div>○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】</div></div></td><td></td></tr><tr><td>仮設材等運搬費 （トンネル）</td><td>トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。</td><td>避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 3.3t ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】</td><td>—</td></tr><tr><td>電力基本料金費</td><td>電力等の基本料に要する費用をいう。</td><td>高圧電力A 総電力使用量：1,095,241kWh 北海道電力株式会社</td><td>—</td></tr><tr><td>土質等試験費</td><td>施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。</td><td>試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1回</td><td>—</td></tr><tr><td>地盤調査等費</td><td>平板載荷試験に要する費用をいう。</td><td>トンネル坑門工：：1箇所 串内橋（P3、P4）：2箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>ロックボルト長さ 検査費</td><td>トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。</td><td>超音波探傷器供用日数：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）</td><td>—</td></tr></table>				<div><div>・腹起し・火打ち : 35.268 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.692 t</div><div>計 : 111.720 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 3（串内橋 P4）】</div><div>・鋼矢板・鋼矢板継手 : 81.930 t</div><div>・腹起し・火打ち : 30.962 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.356 t</div><div>計 : 117.248 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 4（串内橋A 2）】</div><div>・鋼矢板 : 33.240 t</div><div>・腹起し・火打ち :</div><div>5.760 t</div><div>・カバープレート : 0.136 t</div><div>計 : 39.136 t</div><div>○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】</div></div>		仮設材等運搬費 （トンネル）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 3.3t ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】	—	電力基本料金費	電力等の基本料に要する費用をいう。	高圧電力A 総電力使用量：1,095,241kWh 北海道電力株式会社	—	土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1回	—	地盤調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	トンネル坑門工：：1箇所 串内橋（P3、P4）：2箇所	—	ロックボルト長さ 検査費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—	正		<div>割掛対象表参考内訳書 2 / 6</div> <table><tr><td></td><td></td><td><div><div>計 : 113.298 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 2（串内橋 P3）】</div><div>・鋼矢板 : 71.760 t</div><div>・腹起し・火打ち : 35.268 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.692 t</div><div>計 : 111.720 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 3（串内橋 P4）】</div><div>・鋼矢板・鋼矢板継手 : 81.930 t</div><div>・腹起し・火打ち : 30.962 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.356 t</div><div>計 : 117.248 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 4（串内橋A 2）】</div><div>・鋼矢板 : 33.240 t</div><div>・腹起し・火打ち :</div><div>5.760 t</div><div>・カバープレート : 0.136 t</div><div>計 : 39.136 t</div><div>○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】</div></div></td><td></td></tr><tr><td>仮設材等運搬費 （トンネル）</td><td>トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。</td><td>避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 3.3t ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】</td><td>—</td></tr><tr><td>電力基本料金費</td><td>電力等の基本料に要する費用をいう。</td><td>高圧電力A 総電力使用量：1,095,241kWh 北海道電力株式会社</td><td>—</td></tr><tr><td>土質等試験費</td><td>施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。</td><td>試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1回</td><td>—</td></tr><tr><td>地盤調査等費</td><td>平板載荷試験に要する費用をいう。</td><td>トンネル坑門工：：1箇所 串内橋（P3、P4）：2箇所</td><td>—</td></tr></table>			<div><div>計 : 113.298 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 2（串内橋 P3）】</div><div>・鋼矢板 : 71.760 t</div><div>・腹起し・火打ち : 35.268 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.692 t</div><div>計 : 111.720 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 3（串内橋 P4）】</div><div>・鋼矢板・鋼矢板継手 : 81.930 t</div><div>・腹起し・火打ち : 30.962 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.356 t</div><div>計 : 117.248 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 4（串内橋A 2）】</div><div>・鋼矢板 : 33.240 t</div><div>・腹起し・火打ち :</div><div>5.760 t</div><div>・カバープレート : 0.136 t</div><div>計 : 39.136 t</div><div>○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】</div></div>		仮設材等運搬費 （トンネル）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 3.3t ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】	—	電力基本料金費	電力等の基本料に要する費用をいう。	高圧電力A 総電力使用量：1,095,241kWh 北海道電力株式会社	—	土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1回	—	地盤調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	トンネル坑門工：：1箇所 串内橋（P3、P4）：2箇所	—
			<div><div>・腹起し・火打ち : 35.268 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.692 t</div><div>計 : 111.720 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 3（串内橋 P4）】</div><div>・鋼矢板・鋼矢板継手 : 81.930 t</div><div>・腹起し・火打ち : 30.962 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.356 t</div><div>計 : 117.248 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 4（串内橋A 2）】</div><div>・鋼矢板 : 33.240 t</div><div>・腹起し・火打ち :</div><div>5.760 t</div><div>・カバープレート : 0.136 t</div><div>計 : 39.136 t</div><div>○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】</div></div>																																															
仮設材等運搬費 （トンネル）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 3.3t ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】	—																																															
電力基本料金費	電力等の基本料に要する費用をいう。	高圧電力A 総電力使用量：1,095,241kWh 北海道電力株式会社	—																																															
土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1回	—																																															
地盤調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	トンネル坑門工：：1箇所 串内橋（P3、P4）：2箇所	—																																															
ロックボルト長さ 検査費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—																																															
		<div><div>計 : 113.298 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 2（串内橋 P3）】</div><div>・鋼矢板 : 71.760 t</div><div>・腹起し・火打ち : 35.268 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.692 t</div><div>計 : 111.720 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 3（串内橋 P4）】</div><div>・鋼矢板・鋼矢板継手 : 81.930 t</div><div>・腹起し・火打ち : 30.962 t</div><div>・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.356 t</div><div>計 : 117.248 t</div><div>【構造物掘削 特殊部A 4（串内橋A 2）】</div><div>・鋼矢板 : 33.240 t</div><div>・腹起し・火打ち :</div><div>5.760 t</div><div>・カバープレート : 0.136 t</div><div>計 : 39.136 t</div><div>○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】</div></div>																																																
仮設材等運搬費 （トンネル）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 3.3t ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】	—																																															
電力基本料金費	電力等の基本料に要する費用をいう。	高圧電力A 総電力使用量：1,095,241kWh 北海道電力株式会社	—																																															
土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1回	—																																															
地盤調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	トンネル坑門工：：1箇所 串内橋（P3、P4）：2箇所	—																																															

正誤表(18)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分																					
誤		割掛対象表参考内訳書 3 / 6																					
		<table><tr><td>火 薬 庫 費</td><td>火薬庫の営繕（設置・撤去・維持・補修）に要する費用をいう。</td><td>火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）</td><td>—</td></tr><tr><td>ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費</td><td>トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。</td><td>電動ファン付呼吸用保護具：1式 トンネル延長：1,230.4m</td><td>—</td></tr><tr><td>非 破 壊 検 査 試 験 費</td><td>コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。</td><td>トンネル坑門工 上向：2箇所、側面：4箇所 串内橋下部工 側面：92箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>基 準 試 験 費</td><td>中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。</td><td>コンクリートT 1～4：1回 コンクリートT 3～4：1回</td><td>—</td></tr></table>	火 薬 庫 費	火薬庫の営繕（設置・撤去・維持・補修）に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—	ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具：1式 トンネル延長：1,230.4m	—	非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	トンネル坑門工 上向：2箇所、側面：4箇所 串内橋下部工 側面：92箇所	—	基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。	コンクリートT 1～4：1回 コンクリートT 3～4：1回	—					
火 薬 庫 費	火薬庫の営繕（設置・撤去・維持・補修）に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—																				
ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具：1式 トンネル延長：1,230.4m	—																				
非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	トンネル坑門工 上向：2箇所、側面：4箇所 串内橋下部工 側面：92箇所	—																				
基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。	コンクリートT 1～4：1回 コンクリートT 3～4：1回	—																				
正		割掛対象表参考内訳書 3 / 6																					
		<table><tr><td>ロ ッ ク ボ ル ト 長 さ 検 査 費</td><td>トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。</td><td>超音波探傷器供用日数：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）</td><td>—</td></tr><tr><td>火 薬 庫 費</td><td>火薬庫の営繕（設置・撤去・維持・補修）に要する費用をいう。</td><td>火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）</td><td>—</td></tr><tr><td>ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費</td><td>トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。</td><td>電動ファン付呼吸用保護具：1式 トンネル延長：1,230.4m</td><td>—</td></tr><tr><td>非 破 壊 検 査 試 験 費</td><td>コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。</td><td>トンネル坑門工 上向：2箇所、側面：4箇所 串内橋下部工 側面：92箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>基 準 試 験 費</td><td>中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。</td><td>コンクリートT 1～4：1回 コンクリートT 3～4：1回</td><td>—</td></tr></table>	ロ ッ ク ボ ル ト 長 さ 検 査 費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—	火 薬 庫 費	火薬庫の営繕（設置・撤去・維持・補修）に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—	ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具：1式 トンネル延長：1,230.4m	—	非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	トンネル坑門工 上向：2箇所、側面：4箇所 串内橋下部工 側面：92箇所	—	基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。	コンクリートT 1～4：1回 コンクリートT 3～4：1回	—	
ロ ッ ク ボ ル ト 長 さ 検 査 費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—																				
火 薬 庫 費	火薬庫の営繕（設置・撤去・維持・補修）に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—																				
ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具：1式 トンネル延長：1,230.4m	—																				
非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	トンネル坑門工 上向：2箇所、側面：4箇所 串内橋下部工 側面：92箇所	—																				
基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。	コンクリートT 1～4：1回 コンクリートT 3～4：1回	—																				

正誤表(19)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

正誤区分

誤

割掛対象表参考内訳書 4 / 6

【仮設備工事費】			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工費	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 ・串内橋下部工 4,539.8 空㎡	－
足場工費（非常駐車帯妻部）	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 ・44.3 空㎡（44.333 空㎡／箇所×1 箇所）	－
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	25t ダンプ延運転月数：61.6 ヶ月（4 台）	－
吹付設備費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立解体 1 式 設備期間：18.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了） （基礎コンクリートの処分費を含む）	－
積卸し設備費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：18.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了） 覆作業単独の施工期間：2.0 ヶ月	－
換気設備費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 2,000 ㎡／min（110kw×2） 設置期間 17.3 ヶ月 電気式集じん機 2,400 ㎡／min（64kw） 設置期間 9.2 ヶ月	－
給水設備費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：1248.4m、坑外配管延長 52.6m 設備期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了） 取水設備：水中ポンプ φ80mm、送水管延 172m 取水設備期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了）	－
工事用電力設備費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び照明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル片押し延長：約 1,230m 引込分岐点から坑口までの距離：約 160m	－
工事用電力費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約 1.3 万 kw 電力使用期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了）	－
足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：1,230.4m	－

割掛対照表参考内訳書

正

割掛対象表参考内訳書 4 / 6

【仮設備工事費】			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工費	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 ・串内橋下部工 4,539.8 空㎡	－
足場工費（非常駐車帯妻部）	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 ・44.3 空㎡（44.333 空㎡／箇所×1 箇所）	－
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	25t ダンプ延運転月数：61.6 ヶ月（4 台）	－
吹付設備費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立解体 1 式 設備期間：18.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了） （基礎コンクリートの処分費を含む）	－
積卸し設備費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：18.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了） 覆作業単独の施工期間：2.0 ヶ月	－
換気設備費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 2,000 ㎡／min（110kw×2） 設置期間 17.3 ヶ月 電気式集じん機 2,400 ㎡／min（64kw） 設置期間 9.2 ヶ月	－
給水設備費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：1248.4m、坑外配管延長 52.6m 設備期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了） 取水設備：水中ポンプ φ80mm、送水管延 172m 取水設備期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了）	－
工事用電力設備費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び照明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル片押し延長：約 1,230m 引込分岐点から坑口までの距離：約 160m	－
工事用電力費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約 1.3 万 kw 電力使用期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了）	－
足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：1,230.4m	－
吹付プラント冬期養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬期養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 1,080 ㎡ 養生期間：11.0 ヶ月	－

正誤表(20)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分																																													
	誤	割掛対象表参考内訳書 5 / 6																																													
		<table><tr><td>吹付プラント 冬期養生費</td><td>トンネルの吹付プラント設備の冬期養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積 約 1,080 m³ 養生期間：11.0ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>汚濁水処理設備 冬期養生費</td><td>トンネルの汚濁水処理設備の冬期養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積 約 540 m³ 養生期間：11.0ヶ月</td><td>—</td></tr></table> <p>【雑工事費】</p> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳（参考）</th><th>図面</th></tr><tr><td>のり面仕上げ費</td><td>共通仕様書2-6-5（8）及び2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。</td><td>切土部のり面仕上げ：1,685.0 m² 盛土部のり面仕上げ： 370.0 m²</td><td>—</td></tr><tr><td>沈砂池費</td><td>降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。</td><td>本線部 STA. 1075+0.00 付近：1箇所 送水設備：工事用水中ポンプφ50mm、送水管延 160.7m、 高密度ポリエチレン管 φ100mm(埋設部に設置) 25.0m 設備期間：23.0ヶ月</td><td>○</td></tr><tr><td>コンクリート 寒中養生費</td><td>寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。</td><td>串内橋 P3橋脚 保温シート：718.9 m² 打設回数：4回</td><td>—</td></tr><tr><td>火薬取扱い費</td><td>火薬の取扱いに要する費用をいう。</td><td>火薬使用期間：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）</td><td>—</td></tr><tr><td>構造物水抜孔費</td><td>コンクリート構造物に設置する水抜孔に要する費用をいう。</td><td>橋梁工：VP（φ75）L=18.0m A1：L=9.0m A2：L=9.0m</td><td>—</td></tr><tr><td>くい頭処理費</td><td>場所打ちぐいのくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。</td><td>串内橋 φ1200：60本</td><td>—</td></tr><tr><td>支承アンカーボルト 箱抜費</td><td>橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置するための、箱抜に要する費用をいう。</td><td>串内橋：φ200：102.7m</td><td>○</td></tr><tr><td>箱抜工費</td><td>トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜に要する費用をいう。</td><td>箱抜き型枠：242.3 m² 箱抜き補強材の設置：1.8t 既設支保工撤去：2.8t</td><td>—</td></tr></table>				吹付プラント 冬期養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬期養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積 約 1,080 m ³ 養生期間：11.0ヶ月	—	汚濁水処理設備 冬期養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬期養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積 約 540 m ³ 養生期間：11.0ヶ月	—	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	のり面仕上げ費	共通仕様書2-6-5（8）及び2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	切土部のり面仕上げ：1,685.0 m ² 盛土部のり面仕上げ： 370.0 m ²	—	沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	本線部 STA. 1075+0.00 付近：1箇所 送水設備：工事用水中ポンプφ50mm、送水管延 160.7m、 高密度ポリエチレン管 φ100mm(埋設部に設置) 25.0m 設備期間：23.0ヶ月	○	コンクリート 寒中養生費	寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。	串内橋 P3橋脚 保温シート：718.9 m ² 打設回数：4回	—	火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—	構造物水抜孔費	コンクリート構造物に設置する水抜孔に要する費用をいう。	橋梁工：VP（φ75）L=18.0m A1：L=9.0m A2：L=9.0m	—	くい頭処理費	場所打ちぐいのくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。	串内橋 φ1200：60本	—	支承アンカーボルト 箱抜費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置するための、箱抜に要する費用をいう。	串内橋：φ200：102.7m	○	箱抜工費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜に要する費用をいう。
吹付プラント 冬期養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬期養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積 約 1,080 m ³ 養生期間：11.0ヶ月	—																																												
汚濁水処理設備 冬期養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬期養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積 約 540 m ³ 養生期間：11.0ヶ月	—																																												
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																																												
のり面仕上げ費	共通仕様書2-6-5（8）及び2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	切土部のり面仕上げ：1,685.0 m ² 盛土部のり面仕上げ： 370.0 m ²	—																																												
沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	本線部 STA. 1075+0.00 付近：1箇所 送水設備：工事用水中ポンプφ50mm、送水管延 160.7m、 高密度ポリエチレン管 φ100mm(埋設部に設置) 25.0m 設備期間：23.0ヶ月	○																																												
コンクリート 寒中養生費	寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。	串内橋 P3橋脚 保温シート：718.9 m ² 打設回数：4回	—																																												
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—																																												
構造物水抜孔費	コンクリート構造物に設置する水抜孔に要する費用をいう。	橋梁工：VP（φ75）L=18.0m A1：L=9.0m A2：L=9.0m	—																																												
くい頭処理費	場所打ちぐいのくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。	串内橋 φ1200：60本	—																																												
支承アンカーボルト 箱抜費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置するための、箱抜に要する費用をいう。	串内橋：φ200：102.7m	○																																												
箱抜工費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜に要する費用をいう。	箱抜き型枠：242.3 m ² 箱抜き補強材の設置：1.8t 既設支保工撤去：2.8t	—																																												
割掛対照表 参考内訳書	正	割掛対象表参考内訳書 5 / 6																																													
		<table><tr><td>汚濁水処理設備 冬期養生費</td><td>トンネルの汚濁水処理設備の冬期養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積 約 540 m³ 養生期間：11.0ヶ月</td><td>—</td></tr></table> <p>【雑工事費】</p> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳（参考）</th><th>図面</th></tr><tr><td>のり面仕上げ費</td><td>共通仕様書2-6-5（8）及び2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。</td><td>切土部のり面仕上げ：1,685.0 m² 盛土部のり面仕上げ： 370.0 m²</td><td>—</td></tr><tr><td>沈砂池費</td><td>降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。</td><td>本線部 STA. 1075+0.00 付近：1箇所 送水設備：工事用水中ポンプφ50mm、送水管延 160.7m、 高密度ポリエチレン管 φ100mm(埋設部に設置) 25.0m 沈砂池設備期間：31.0ヶ月 送水設備運転日数：690日（23.0ヶ月）</td><td>○</td></tr><tr><td>コンクリート 寒中養生費</td><td>寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。</td><td>串内橋 P3橋脚 保温シート：718.9 m² 打設回数：4回</td><td>—</td></tr><tr><td>火薬取扱い費</td><td>火薬の取扱いに要する費用をいう。</td><td>火薬使用期間：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）</td><td>—</td></tr><tr><td>構造物水抜孔費</td><td>コンクリート構造物に設置する水抜孔に要する費用をいう。</td><td>橋梁工：VP（φ75）L=18.0m A1：L=9.0m A2：L=9.0m</td><td>—</td></tr><tr><td>くい頭処理費</td><td>場所打ちぐいのくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。</td><td>串内橋 φ1200：60本</td><td>—</td></tr><tr><td>支承アンカーボルト 箱抜費</td><td>橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置するための、箱抜に要する費用をいう。</td><td>串内橋：φ200：102.7m</td><td>○</td></tr><tr><td>箱抜工費</td><td>トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜に要する費用をいう。</td><td>箱抜き型枠：242.3 m² 箱抜き補強材の設置：1.8t 既設支保工撤去：2.8t</td><td>—</td></tr></table>				汚濁水処理設備 冬期養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬期養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積 約 540 m ³ 養生期間：11.0ヶ月	—	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	のり面仕上げ費	共通仕様書2-6-5（8）及び2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	切土部のり面仕上げ：1,685.0 m ² 盛土部のり面仕上げ： 370.0 m ²	—	沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	本線部 STA. 1075+0.00 付近：1箇所 送水設備：工事用水中ポンプφ50mm、送水管延 160.7m、 高密度ポリエチレン管 φ100mm(埋設部に設置) 25.0m 沈砂池設備期間：31.0ヶ月 送水設備運転日数：690日（23.0ヶ月）	○	コンクリート 寒中養生費	寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。	串内橋 P3橋脚 保温シート：718.9 m ² 打設回数：4回	—	火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—	構造物水抜孔費	コンクリート構造物に設置する水抜孔に要する費用をいう。	橋梁工：VP（φ75）L=18.0m A1：L=9.0m A2：L=9.0m	—	くい頭処理費	場所打ちぐいのくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。	串内橋 φ1200：60本	—	支承アンカーボルト 箱抜費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置するための、箱抜に要する費用をいう。	串内橋：φ200：102.7m	○	箱抜工費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜に要する費用をいう。	箱抜き型枠：242.3 m ² 箱抜き補強材の設置：1.8t 既設支保工撤去：2.8t	—		
汚濁水処理設備 冬期養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬期養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積 約 540 m ³ 養生期間：11.0ヶ月	—																																												
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																																												
のり面仕上げ費	共通仕様書2-6-5（8）及び2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	切土部のり面仕上げ：1,685.0 m ² 盛土部のり面仕上げ： 370.0 m ²	—																																												
沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	本線部 STA. 1075+0.00 付近：1箇所 送水設備：工事用水中ポンプφ50mm、送水管延 160.7m、 高密度ポリエチレン管 φ100mm(埋設部に設置) 25.0m 沈砂池設備期間：31.0ヶ月 送水設備運転日数：690日（23.0ヶ月）	○																																												
コンクリート 寒中養生費	寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。	串内橋 P3橋脚 保温シート：718.9 m ² 打設回数：4回	—																																												
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—																																												
構造物水抜孔費	コンクリート構造物に設置する水抜孔に要する費用をいう。	橋梁工：VP（φ75）L=18.0m A1：L=9.0m A2：L=9.0m	—																																												
くい頭処理費	場所打ちぐいのくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。	串内橋 φ1200：60本	—																																												
支承アンカーボルト 箱抜費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置するための、箱抜に要する費用をいう。	串内橋：φ200：102.7m	○																																												
箱抜工費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜に要する費用をいう。	箱抜き型枠：242.3 m ² 箱抜き補強材の設置：1.8t 既設支保工撤去：2.8t	—																																												

正誤表(21)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

[illegible]

正誤表(22)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図
橋梁下部工
(9/90)

正

正誤表(24)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図
橋梁下部工
(71/90)

正

車内橋(下り線) A2橋台配筋図(その14)

71 / 90

鉄筋集計表					
種別	鉄筋番号	下部工事量		上部工事量	
		数量	単位	数量	単位
A	B11	0.0	1.0	1.0	1.0
	B12	0.0	1.0	1.0	1.0
	B13	0.0	1.0	1.0	1.0
	B14	0.0	1.0	1.0	1.0
	B15	0.0	1.0	1.0	1.0
	B16	0.0	1.0	1.0	1.0
	B17	0.0	1.0	1.0	1.0
	B18	0.0	1.0	1.0	1.0
	B19	0.0	1.0	1.0	1.0
	B20	0.0	1.0	1.0	1.0
B	B21	0.0	1.0	1.0	1.0
	B22	0.0	1.0	1.0	1.0
	B23	0.0	1.0	1.0	1.0
	B24	0.0	1.0	1.0	1.0
	B25	0.0	1.0	1.0	1.0
	B26	0.0	1.0	1.0	1.0
	B27	0.0	1.0	1.0	1.0
	B28	0.0	1.0	1.0	1.0
	B29	0.0	1.0	1.0	1.0
	B30	0.0	1.0	1.0	1.0
C	C11	0.0	1.0	1.0	1.0
	C12	0.0	1.0	1.0	1.0
	C13	0.0	1.0	1.0	1.0
	C14	0.0	1.0	1.0	1.0
	C15	0.0	1.0	1.0	1.0
	C16	0.0	1.0	1.0	1.0
	C17	0.0	1.0	1.0	1.0
	C18	0.0	1.0	1.0	1.0
	C19	0.0	1.0	1.0	1.0
	C20	0.0	1.0	1.0	1.0

機械式鉄筋定着工法数量表(下部工事)					
種別	鉄筋番号	下部工事量		上部工事量	
		数量	単位	数量	単位
A	B11	0.0	1.0	1.0	1.0
	B12	0.0	1.0	1.0	1.0
	B13	0.0	1.0	1.0	1.0
	B14	0.0	1.0	1.0	1.0
	B15	0.0	1.0	1.0	1.0
	B16	0.0	1.0	1.0	1.0
	B17	0.0	1.0	1.0	1.0
	B18	0.0	1.0	1.0	1.0
	B19	0.0	1.0	1.0	1.0
	B20	0.0	1.0	1.0	1.0
B	B21	0.0	1.0	1.0	1.0
	B22	0.0	1.0	1.0	1.0
	B23	0.0	1.0	1.0	1.0
	B24	0.0	1.0	1.0	1.0
	B25	0.0	1.0	1.0	1.0
	B26	0.0	1.0	1.0	1.0
	B27	0.0	1.0	1.0	1.0
	B28	0.0	1.0	1.0	1.0
	B29	0.0	1.0	1.0	1.0
	B30	0.0	1.0	1.0	1.0
C	C11	0.0	1.0	1.0	1.0
	C12	0.0	1.0	1.0	1.0
	C13	0.0	1.0	1.0	1.0
	C14	0.0	1.0	1.0	1.0
	C15	0.0	1.0	1.0	1.0
	C16	0.0	1.0	1.0	1.0
	C17	0.0	1.0	1.0	1.0
	C18	0.0	1.0	1.0	1.0
	C19	0.0	1.0	1.0	1.0
	C20	0.0	1.0	1.0	1.0

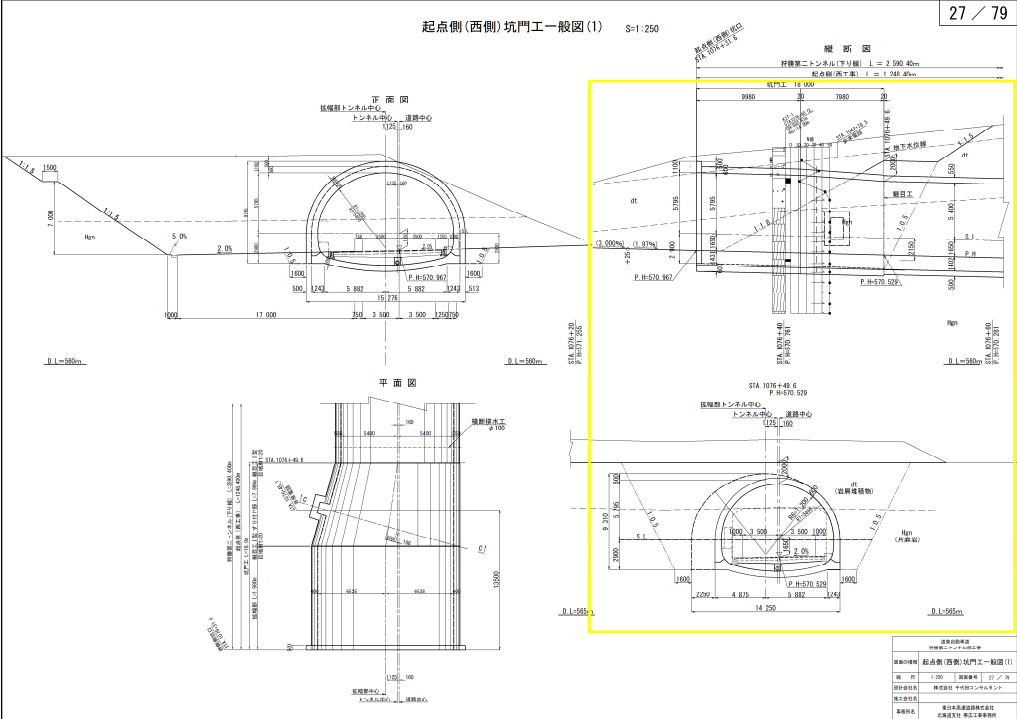
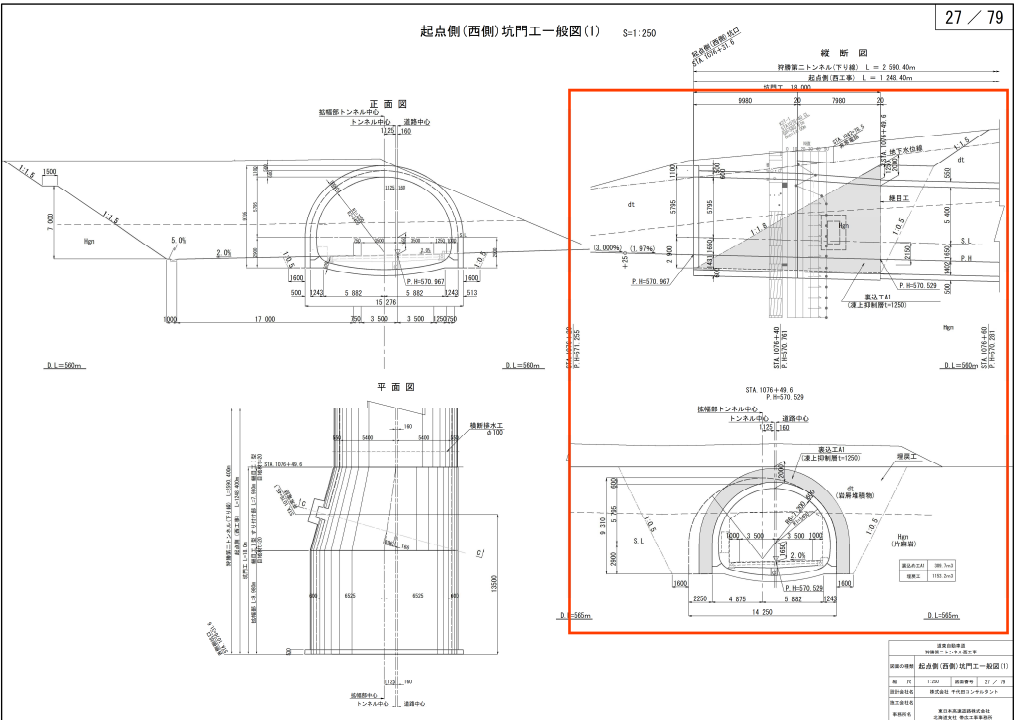
鉄筋加工寸法表(SD345)					
種別	鉄筋番号	下部工事量		上部工事量	
		数量	単位	数量	単位
A	B11	0.0	1.0	1.0	1.0
	B12	0.0	1.0	1.0	1.0
	B13	0.0	1.0	1.0	1.0
	B14	0.0	1.0	1.0	1.0
	B15	0.0	1.0	1.0	1.0
	B16	0.0	1.0	1.0	1.0
	B17	0.0	1.0	1.0	1.0
	B18	0.0	1.0	1.0	1.0
	B19	0.0	1.0	1.0	1.0
	B20	0.0	1.0	1.0	1.0
B	B21	0.0	1.0	1.0	1.0
	B22	0.0	1.0	1.0	1.0
	B23	0.0	1.0	1.0	1.0
	B24	0.0	1.0	1.0	1.0
	B25	0.0	1.0	1.0	1.0
	B26	0.0	1.0	1.0	1.0
	B27	0.0	1.0	1.0	1.0
	B28	0.0	1.0	1.0	1.0
	B29	0.0	1.0	1.0	1.0
	B30	0.0	1.0	1.0	1.0
C	C11	0.0	1.0	1.0	1.0
	C12	0.0	1.0	1.0	1.0
	C13	0.0	1.0	1.0	1.0
	C14	0.0	1.0	1.0	1.0
	C15	0.0	1.0	1.0	1.0
	C16	0.0	1.0	1.0	1.0
	C17	0.0	1.0	1.0	1.0
	C18	0.0	1.0	1.0	1.0
	C19	0.0	1.0	1.0	1.0
	C20	0.0	1.0	1.0	1.0

鉄筋加工寸法表(SD345)					
種別	鉄筋番号	下部工事量		上部工事量	
		数量	単位	数量	単位
A	B11	0.0	1.0	1.0	1.0
	B12	0.0	1.0	1.0	1.0
	B13	0.0	1.0	1.0	1.0
	B14	0.0	1.0	1.0	1.0
	B15	0.0	1.0	1.0	1.0
	B16	0.0	1.0	1.0	1.0
	B17	0.0	1.0	1.0	1.0
	B18	0.0	1.0	1.0	1.0
	B19	0.0	1.0	1.0	1.0
	B20	0.0	1.0	1.0	1.0
B	B21	0.0	1.0	1.0	1.0
	B22	0.0	1.0	1.0	1.0
	B23	0.0	1.0	1.0	1.0
	B24	0.0	1.0	1.0	1.0
	B25	0.0	1.0	1.0	1.0
	B26	0.0	1.0	1.0	1.0
	B27	0.0	1.0	1.0	1.0
	B28	0.0	1.0	1.0	1.0
	B29	0.0	1.0	1.0	1.0
	B30	0.0	1.0	1.0	1.0
C	C11	0.0	1.0	1.0	1.0
	C12	0.0	1.0	1.0	1.0
	C13	0.0	1.0	1.0	1.0
	C14	0.0	1.0	1.0	1.0
	C15	0.0	1.0	1.0	1.0
	C16	0.0	1.0	1.0	1.0
	C17	0.0	1.0	1.0	1.0
	C18	0.0	1.0	1.0	1.0
	C19	0.0	1.0	1.0	1.0
	C20	0.0	1.0	1.0	1.0

鉄筋加工寸法表(SD345)					
種別	鉄筋番号	下部工事量		上部工事量	
		数量	単位	数量	単位
A	B11	0.0	1.0	1.0	1.0
	B12	0.0	1.0	1.0	1.0
	B13	0.0	1.0	1.0	1.0
	B14	0.0	1.0	1.0	1.0
	B15	0.0	1.0	1.0	1.0
	B16	0.0	1.0	1.0	1.0
	B17	0.0	1.0	1.0	1.0
	B18	0.0	1.0	1.0	1.0
	B19	0.0	1.0	1.0	1.0
	B20	0.0	1.0	1.0	1.0
B	B21	0.0	1.0	1.0	1.0
	B22	0.0	1.0	1.0	1.0
	B23	0.0	1.0	1.0	1.0
	B24	0.0	1.0	1.0	1.0
	B25	0.0	1.0	1.0	1.0
	B26	0.0	1.0	1.0	1.0
	B27	0.0	1.0	1.0	1.0
	B28	0.0	1.0	1.0	1.0
	B29	0.0	1.0	1.0	1.0
	B30	0.0	1.0	1.0	1.0
C	C11	0.0	1.0	1.0	1.0
	C12	0.0	1.0	1.0	1.0
	C13	0.0	1.0	1.0	1.0
	C14	0.0	1.0	1.0	1.0
	C15	0.0	1.0	1.0	1.0
	C16	0.0	1.0	1.0	1.0
	C17	0.0	1.0	1.0	1.0
	C18	0.0	1.0	1.0	1.0
	C19	0.0	1.0	1.0	1.0
	C20	0.0	1.0	1.0	1.0

正誤表(25)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図 トンネル工 (27/79)</p>	<p>誤</p> 
	<p>正</p> 

正誤表(26)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

[illegible]

正誤表(27)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

[illegible]

正誤表(28)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

[illegible]

正誤表(29)

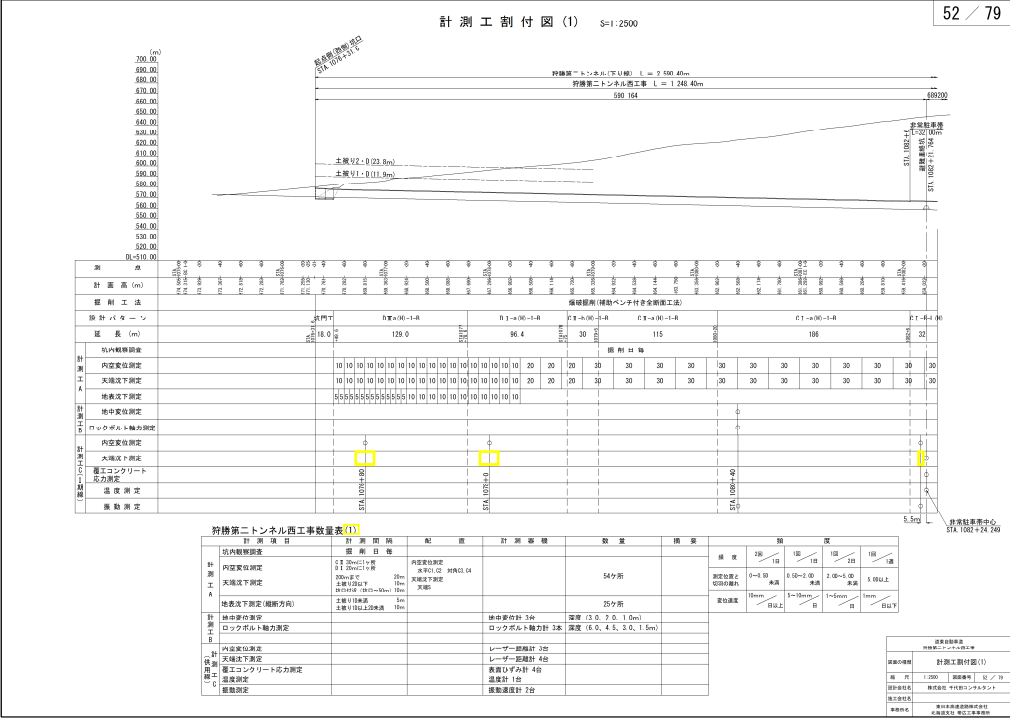
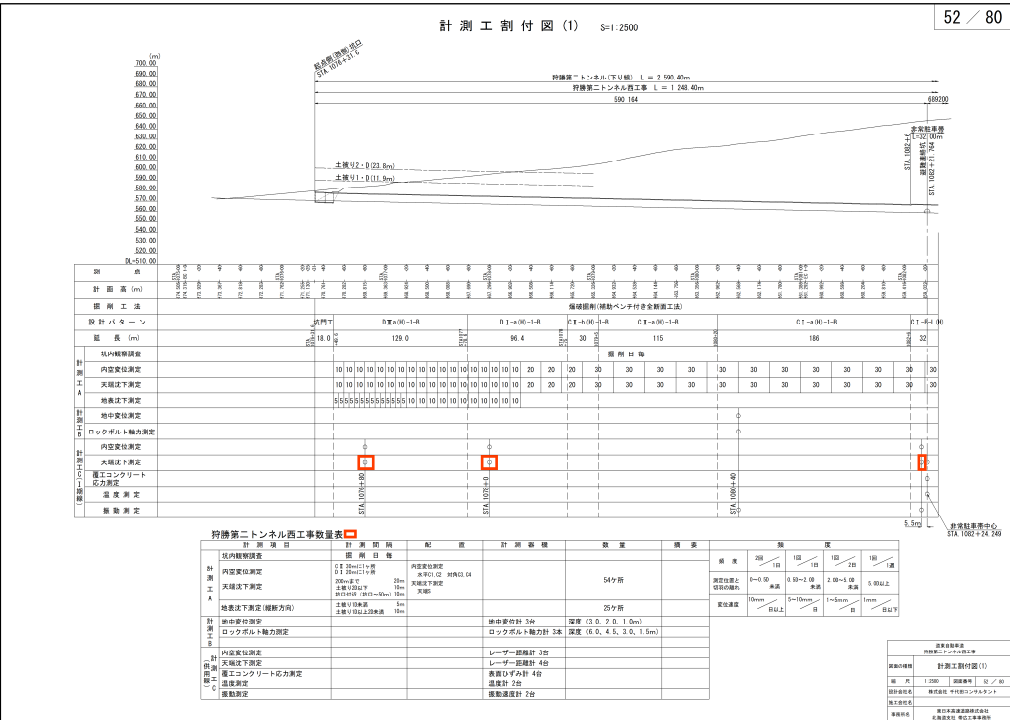
工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所	正誤区分
設計図 トンネル工 (48/79)	<div><div>排水工詳細図(3) S=1:25</div><div><div><div>中央排水工 B インバートあり</div><div>横断排水工 B インバートあり</div><div>裏面排水工断面図(1) S=1:50 (本坑)</div><div>裏面排水工断面図(2) (避難連絡坑)</div></div><div><div>中央排水工材料表 (10m当り)</div><div>横断排水工材料表 (10m当り)</div></div></div></div>

正	<div><div>排水工詳細図(3) S=1:25</div><div><div><div>中央排水工 B インバートあり</div><div>横断排水工 B インバートあり</div><div>裏面排水工断面図(1) S=1:50 (本坑)</div><div>裏面排水工断面図(2) (避難連絡坑)</div></div><div><div>中央排水工材料表 (10m当り)</div><div>横断排水工材料表 (10m当り)</div></div></div></div>
---	---

正誤表(30)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分
設計図 トンネル工 (52/79)	誤	<div><p>計測工割付図(1) S=1:2500</p><p>52 / 79</p></div>
	正	<div><p>計測工割付図(1) S=1:2500</p><p>52 / 80</p></div>

正誤表(31)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所		正誤区分
設計図 トンネル工 (53/79)	誤	<div>計測工割付図(2) S-1:2500</div> <div>53 / 79</div> <p>計測工割付図(2) S-1:2500</p> <p>53 / 79</p> <p>計測工割付図(2) S-1:2500</p> <p>53 / 79</p>
	正	<div>計測工割付図(2) S-1:2500</div> <div>53 / 80</div> <p>計測工割付図(2) S-1:2500</p> <p>53 / 80</p> <p>計測工割付図(2) S-1:2500</p> <p>53 / 80</p>

正誤表(32)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

修正箇所

正誤区分

誤

ケーブル数量表

計測項目	計測名称	ケーブル長	工事	備考
竣工後の測定	測定ケーブル	21.0m	西工事	計測-ジョイントボックス 21×1
温度測定	測定ケーブル	13.0m	西工事	計測-ジョイントボックス 13×1
竣工後の測定	多芯ケーブル	566.0m	西工事	ジョイントボックス-データローガー 546-20
天候低下測定	専用ケーブル	40.0m	西工事	計測-通信機 11×9 5×10 5×2
内空気圧測定	センサーケーブル	566.0m	西工事	通信ボックス-パソコン 546-20
振動速度測定	通信ケーブル	566.0m	西工事	振動測定器-パソコン 546-20

凡例

- 内空気圧測定 レーザー距離計 1台 × 2箇所 = 2台
- 天候低下測定 レーザー距離計 1台 × 2箇所 = 2台
- 閉上用途ケーブルボックス 閉上用途データコンバーター 2台
- 閉上用途ケーブルボックス 閉上用途データコンバーター 2台
- 内空気圧測定 気圧計 3台 × 1箇所 = 3台
- ジョイントボックス 集約機器 (100mスイッチボックス) 8台
- パソコン (上記測定用) データ収録装置 1台
- レーザー距離計用データコンバーター 1台
- △ 振動測定 気圧計 (2台) × 2箇所 = 2台
- △ 振動測定 気圧計 (2台) × 2箇所 = 2台
- パソコン (振動測定用) データ収録装置 1台
- パソコン (振動測定用) データ収録装置 1台

仕様

種別	規格・仕様	備考
電気式ひずみ計	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	
温度計	測定範囲 ±1.0℃以内	
レーザー距離計	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	
気圧計	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	
温度計	測定範囲 ±1.0℃以内	
集約機器	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	
データ収録装置	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	

位置図 S=1:10000

計測機器配置図

(供用線) 標準断面 S=1:200

(供用線) 非常駐車帯部断面 S=1:200

測定位置図 (西工事)

設計図
トンネル工
(57/79)

正

ケーブル数量表

計測項目	計測名称	ケーブル長	工事	備考
竣工後の測定	測定ケーブル	21.0m	西工事	計測-ジョイントボックス 21×1
温度測定	測定ケーブル	13.0m	西工事	計測-ジョイントボックス 13×1
竣工後の測定	多芯ケーブル	566.0m	西工事	ジョイントボックス-データローガー 546-20
天候低下測定	専用ケーブル	40.0m	西工事	計測-通信機 11×9 5×10 5×2
内空気圧測定	センサーケーブル	566.0m	西工事	通信ボックス-パソコン 546-20
振動速度測定	通信ケーブル	566.0m	西工事	振動測定器-パソコン 546-20

凡例

- 内空気圧測定 レーザー距離計 3箇所 (3台)
- 天候低下測定 レーザー距離計 4箇所 (4台)
- 閉上用途ケーブルボックス 閉上用途データコンバーター 2台
- 閉上用途ケーブルボックス 閉上用途データコンバーター 2台
- 内空気圧測定 気圧計 3箇所 (3台)
- ジョイントボックス 集約機器 (100mスイッチボックス) 8台
- パソコン (上記測定用) データ収録装置 1台
- レーザー距離計用データコンバーター 1台
- △ 振動測定 気圧計 (2台) × 2箇所 = 2台
- △ 振動測定 気圧計 (2台) × 2箇所 = 2台
- パソコン (振動測定用) データ収録装置 1台
- パソコン (振動測定用) データ収録装置 1台

仕様

種別	規格・仕様	備考
電気式ひずみ計	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	
温度計	測定範囲 ±1.0℃以内	
レーザー距離計	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	
気圧計	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	
温度計	測定範囲 ±1.0℃以内	
集約機器	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	
データ収録装置	測定範囲 ±1000×10 ⁻⁶	

位置図 S=1:10000

計測機器配置図

(供用線) 標準断面 S=1:200

(供用線) 非常駐車帯部断面 S=1:200

測定位置図 (西工事)